

T20210531_02_QSFP-DD MSA

[QSFP-DD MSA](#)、新しい仕様とホワイトペーパーを発表

Quad Small Form Factor Pluggable Double Density (QSFPDD) Multi Source Agreement (MSA)グループは、QSFP-DD をアップデートするハードウェア仕様リビジョン(改定)6.0 を発表し、QSFP-DD800 と QSFP112 を紹介している。

QSFP-DD は、プレミアム 8 レーンデータセンタプラグブルモジュールフォームファクタ。QSFP-DD モジュール向けに設計されたシステムは、既存の QSFP フォームファクタと下位互換性があり、エンドユーザ、ネットワークプラットフォーム設計者、インテグレータに最大の柔軟性を与えることが可能。100Gb/s 電気ホストインタフェースのサポートを含む、この第 7 一般向けリリースは、QSFP-DD800 と QSFP112 メカニカルおよびボード定義を付加している。また、QSFP112 電気およびマネージメントタイミングも付加。リビジョン 6.0 に含まれるのは、アップデートされた電源テスト法、25W へ増加したモジュール電力定格。モジュール電源接点定格は、1A から 1.5A に増加。標準コネクタ性能データ付録も追加された。

グループは、QSFP-DD, QSFP-DD800 および QSFP112 向けにアップデートされた Common Management Interface Specification (CMIS) revision 5.0 のリリースも発表した。CMIS は、モジュールが初期化し、連続的動作を保証するために必要なホストとモジュール相互作用を定義している。この改定は、複数の拡張と包括的な技術的、編集的統合を提供している。それは、以前に発表された QSFP-DD MSA HW Spec revision 5.1 およびこの改定 6.0 で定義されているタイミングパラメータと調和している。CMIS は、QSFP/QSFP-DD ファミリモジュールタイプを超えて、業界で広く実装されている。仕様を改善、拡張するために多くの実装者からのフィードバックも統合されている。

MSA グループは、新しい熱管理ホワイトペーパーのリリースも発表している。ハイパフォーマンスネットワーク環境はプラグブル光モジュールの効率的な冷却を必要とする。これは、QSFP-DD800 システム向けの新しいハイパワー25W モジュールには特に当てはまる。動作性能を保証するために効率的に放熱しなければならないからである。効率的な放熱には、モジュール、ゲージ、ヒートシンクおよび QSFP-DD モジュールシステム全体の注意深い熱設計が求められている。新しいホワイトペーパーは、QSFP-DD/QSFP-DD800 モジュール設計、および QSFP-DD/QSFP-DD800 システム設計でこの目標達成のために利用可能な技術を説明している。それには、これらの技術の有効性を示す実験およびシミュレーション研究が含まれている。

